

昭和 51 年度

小児慢性疾患に関する臨床的研究

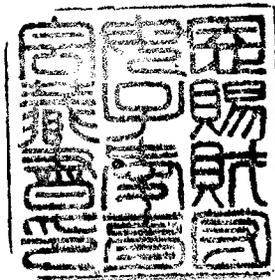
主任研究者

合 屋 長 英 (九大小児科)

厚生省心身障害研究費による小児慢性疾患研究班は、昭和50年度は木村三生夫教授(東海大小児科)を班長として構成されていたが、昭和51年度は木村教授、 大國真彦教授(日大小児科)、合屋の3人のグループにわかれて研究をすすめた。

この研究報告書は、合屋が班長となった内分泌、代謝異常、血液、薬理関係の研究報告書である。分担研究者のリストは次頁に記した。

はじめに各研究班員の研究計画、研究経過、研究結果を総括し、ついで班員および研究協力者の研究結果を掲載した。



820225

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

厚生省心身障害研究費による小児慢性疾患研究班は,昭和50年度は木村三生夫教授(東海大小児科)を班長として構成されていたが,昭和51年度は木村教授, 大國真彦教授(日大小児科),合屋の3人のグループにわかれて研究をすすめた。